

議会だより

かみやま

第 40 号

2019. 5. 15

3 月定例会



<阿川二ノ宮神社で阿川梅まつりでの笠踊り>

町長の諸般報告、所信表明	3 頁
平成31年度当初予算	4 ~ 6 頁
補正予算・条例一部改正等	7 ~ 8 頁
3 月定例会 一般質問	9 ~ 16 頁

3月定例会は、平成31年3月7日から20日までの14日間の会期で開催した。前年度より3,800万円増となった平成31年度一般会計予算を中心に平成30年度補正予算のほか条例の一部改正など23議案を審議し、全議案原案とおりに可決した。9～16ページに掲載

日	平成31年3月定例会議案事項	掲載項
第1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸報告 ・ 町長からの所信表明 ・ 平成30年度神山町一般会計補正予算（6号）について【上程】【審議】【可決】 ・ 平成30年度神山町特別会計補正予算について（国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、後期高齢者医療）【上程】【審議】【可決】 ・ 大埜地集合住宅N-3棟新築工事変更請負契約締結について【上程】【審議】【可決】 ・ 大埜地集合住宅C-3棟新築工事変更請負契約締結について【上程】【審議】【可決】 ・ 平成30年度林道施設災害復旧事業（平成30年8月21日から24日にかけての台風20号災害）倉羅川井峠線1号箇所工事請負契約の締結について【上程】【審議】【可決】 ・ 平成30年度施行30年災第1号地すべり災害復旧工事（西久地殿宮線）変更請負契約の締結について【上程】【審議】【可決】 	<p>3頁</p> <p>7～8頁</p>
第6日	平成31年度神山町一般会計予算について【上程】【審議保留】	4～6頁
第7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成31年度神山町特別会計予算について（国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、後期高齢者医療）【上程】【審議保留】 ・ 条例の一部改正等 7件【上程】【審議保留】 ・ 平成30年度神山町簡易水道等施設整備費（生活基盤近代化事業）広野区域ろ過施設建設工事変更請負契約の締結について【上程】【審議】【可決】 	4～7頁
第12日	<p>一般質問</p> <p>西崎哲夫 中谷秀久 高橋義英 志甫守 森本孝夫 佐出由恵 新居榮二 杉本哲男</p>	9～16頁
第13日	<p>町内視察（上分地区）</p> <p>森林管理道倉羅川井峠線、上分本根川県道等機能保全緊急対策事業、上分中津神通滝遊歩道新設工事</p>	19頁
第14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成31年度一般会計予算について【審議】【可決】 ・ 平成31年度特別会計予算について（国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、後期高齢者医療）【審議】【可決】 ・ 条例の一部改正等 7件【審議】【可決】 ・ 平成30年度（ゼロ国）森林基盤整備事業林業専用道奥屋敷線開設工事（奥屋敷工区）請負契約の締結について【上程】【審議】【可決】 ・ その他（議員派遣、委員会閉会中の継続調査）【上程】【決定】 	

※第2日、第5日、第8日、第9日は議事の都合、3日、4日、10日、11日は休日により休会とした。

町長の諸般報告、所信表明

災害対策

避難所備蓄食品の充実及び賞味期限品の更新。ランタン200個を購入。非構造部材の耐震化及び防災・減災に対する住民への啓発活動強化。阿川地区における防災行政無線の受信不良地区の解消について調査。小中学校（指定避難所）に無線LAN設備の設置。

すだち生産

後継者育成事業への取り組み強化。

教育の充実・魅力化

町と高校の連携強化。小中学校児童生徒にタブレット端末の配備を推進。

国際交流プロジェクト事業を継続。

ネットワーク関連

公民館の広間に設置している公衆無線LANの老朽化につき更新。公共情報施設のパソコンサーバーの更新経費と職員用のパソコン更新経費を計上。

LED化

防犯灯のLED化は計画全箇所にて完了。

湯水対策

個人や共同で水を引いている飲料水施設の維持管理等を集落支援員と連携し、高齢者の生活手段サポートを検討。

自動車運転免許証の自主返納の助成

平成30年免許返納者は13名と増加傾向。バス・タクシー利用の助成申請は現在14名。助成の

申請は、チケット綴が切れる前でも申請可能とする。チケット冊数を4冊から5冊へ増冊。

寄付

大阪府の中野幸子様よりご寄付。若者定住応援基金として利用。

町職員

行政職92名、現業職9名の101名。徳島県後期高齢者医療広域連合へ1名、徳島県総合事務組合へ1名派遣。神山つなぐ公社へ2名の職員の出向。再任用5名採用。

地方創生の推進

地方創生推進交付金を活用し、ワークインジデンス事業、つなぐ公社の運営、収益事業開発を推進。

集合住宅は3戸一の住宅2棟を建築中で新年度も建設を順次進めていく。東京圏からの移住促進のためわくわく地方生活実現補助金2名分を計上。

地籍調査事業

阿野字南行者野の全筆997

筆と神領字東大久保322筆の調査を計画。

林業関連

森林環境譲与税を森林環境の改善、森林資源の開発事業に充当。林政アドバイザー2名配置。上分の名ヶ平、檜平、大中尾の200ヘクタールにおいて森林境界の明確化を進めていく。

観光設備関連

神山温泉宿泊棟屋根の防水工事、ボイラー工事計上。

農地関連

阿川、鬼籠野、神領地区で地滑り調査計画の町負担経費計上。

土木関連

215橋の橋梁の長寿命化計画と宇井橋、神川橋の2橋の改修測量設計費計上。1・2級町道の道路防災点検を計画。高瀬団地駐車場用地の確保を計画。

公共施設関連

下分公民館の内部建具などの耐震化工事を予定。阿川公民館入口の山腹崩壊復旧予算計上。

平成31年度当初予算

一般会計	44億5700万円 (0.9%増)
国民健康保険特別会計	8億1463万円 (2.1%増)
簡易水道事業特別会計	3億6216万円 (9.6%増)
介護保険特別会計	9億9718万円 (0.8%減)
後期高齢者医療特別会計	1億3179万円 (5.9%増)
当初予算合計	67億6276万円

平成31年度予算の主な内容	
総務課	地域集会施設改築費等補助金 60万円 地方創生推進交付金事業業務委託料 1億円
	避難所等備蓄用食糧費 100万円 名西消防組合負担金 1億2178万円
住民課	元気づくり事業助成金 165万円 LED防犯灯借上料 330万円
	町営バス運行委託料 2210万円 結婚祝金 100万円
税務課	戸籍総合システム保守委託料 322万円 阿北環境整備組合負担金 1316万円
	紙おむつ処理委託料 383万円 ゴミ処理委託料 891万円
	一般廃棄物収集運搬処理業務委託料 2452万円
国民健康保険課	国民健康保険特別会計繰出金 6934万円 後期高齢者医療広域連合事務費負担金 725万円
	後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金 1億3699万円 後期高齢者医療特別会計繰出金 6585万円
	○国民健康保険特別会計 一般被保険者療養給付費 4億9000万円
	退職被保険者等療養給付費 40万円 一般被保険者高額療養費 8200万円
	出産育児一時金(一人42万円、4名分) 168万円 健康診査等委託料 479万円

平成 31 年度 予算 の 主な 内容

税 務 保 険 課	特定検診委託料負担金	391万円
	○後期高齢者特別会計 後期高齢者医療広域連合納付金	1 億1115万円
健 康 福 祉 課	シルバー人材センター業務委託料	300万円
	町内高齢者等神山温泉使用料（差額分）	546万円
	敬老会開催負担金	370万円
	高齢者路線バス定期券購入費助成事業補助金	47万円
	介護保険特別会計繰出金	1 億7570万円
	重度心身障害者等医療助成金	2672万円
	障害者自立支援介護給付費	1 億5500万円
	地域活動支援センター事業補助金	246万円
	高齢者等タクシー利用助成事業委託料	720万円
	児童手当費	4006万円
福 祉 課	放課後児童クラブ運営委託料	1501万円
	子ども子育て支援事業計画策定業務委託料	280万円
	老人保護施設措置費	1 億3544万円
	救急医療対策費補助金	302万円
	子どもはぐくみ医療助成金	1232万円
	○介護保険特別会計 居宅介護サービス給付費	2 億4040万円
	施設介護サービス給付費	4 億4087万円
	居宅介護サービス計画給付費	3187万円
	地域密着型介護サービス給付費	5469万円
	高額介護サービス費	2066万円
産 業 観 光 課	特定入所者介護サービス費	5038万円
	介護予防サービス給付費	2319万円
	移住交流支援センター委託料	464万円
	移住者支援空家改修補助金	300万円
	わくわく地方生活実現補助金	200万円
	すだち消費宣伝用果実代	100万円
	農作物被害対策施設設備補助金	300万円
	中山間地域等直接支払交付金	975万円

平成 31 年度 予算 の 主な 内容

産 業 観 光 課	農業次世代人材投資資金交付金	1050万円
	農山漁村未来創造事業補助金	246万円
	有害鳥獣駆除報奨金	811万円
	有害鳥獣捕獲狩猟免許取得等補助金	36万円
	町有林搬出間伐業務委託料	1221万円
	森林境界の明確化業務委託料	1144万円
	鮎喰川 PR 事業補助金	100万円
	4K とくしま映画祭負担金	100万円
	道の駅指定管理者業務委託料	330万円
	若者定住支援住宅新築等補助金	800万円
建 設 課	県道改良工事等負担金	2000万円
	町道維持工事	3000万円
	橋りょう長寿命化計画事業委託料	1000万円
	橋りょう改修測量設計委託料	1000万円
	道路改良舗装工事	3000万円
	道路防災点検業務委託料	1000万円
	県単砂防事業負担金	250万円
	耐震改修事業補助金	260万円
	老朽危険空家除去支援事業補助金	240万円
	現年発生公共土木施設災害復旧応急工事	500万円
課	○簡易水道事業特別会計 水質検査手数料	328万円
	中央配水管布設替工事設計委託料	277万円
	広野区域ろ過施設建設工事	2 億0001万円
教 育 委 員 会	農村環境改善センター等指定管理者業務委託料	1422万円
	通学費補助金	200万円
	小中学校入学準備補助金	138万円
	城西高校通学費補助金	300万円
	スクールバス委託料	2000万円
	神山町国際交流プロジェクト委託料	728万円
	給食材料費	1464万円
	学校給食用パン加工委託料	97万円

補正予算・条例一部改正等

平成30年度補正予算

一般会計（第6号）	補正額	3億918万円（52億9729万円）
国民健康保険特別会計（第4号）	補正額	5507万円（8億9722万円）
簡易水道事業特別会計（第3号）	補正額	（3億3447万円）
介護保険特別会計（第2号）	補正額	2883万円（10億5699万円）
後期高齢者医療特別会計（第2号）	補正額	222万円（1億2255万円）

予算合計 補正額 3億9530万円（77億852万円）
 （ ）は予算総額

補正予算・条例一部改正等の主な内容	
総務課	○平成30年度一般会計補正予算（第6号） 市町村総合事務組合負担金 120万円 ふるさと振興基金積立金 103万円 庁舎等増改築基金積立金 2億9627万円 減債基金積立金 280万円 ＊職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について ＊神山町消防団条例の一部改正について ＊神山町特別職の職員で非常勤のものの報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について ＊神山町賃貸住宅設置及び管理に関する条例の一部改正について
住民課	○平成30年度一般会計補正予算（第6号） 水質検査手数料 △28万円 資源物処理手数料 △50万円
税務保険課	○平成30年度一般会計補正予算（第6号） 国民健康保険特別会計繰出金 87万円 後期高齢者医療特別会計繰出金 △233万円 地籍調査事業委託料 △1890万円
健康福祉課	○平成30年度一般会計補正予算（第6号） 町民生委員児童委員協議会負担金 7万円 介護保険特別会計繰出金 △85万円 障害者自立支援費 462万円 プレミアム付商品券助成費 104万円 子ども子育て支援費 105万円 ○平成30年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 居宅介護サービス給付費 1250万円 施設介護サービス給付費 1000万円 居宅介護住宅改修費 147万円 居宅介護サービス計画給付費 200万円 地域密着型介護サービス給付費 90万円 ＊神山町介護予防サービス事業基金条例の廃止について

補正予算・条例の一部改正等の主な内容	
産業観光課	○平成30年度一般会計補正予算（第6号） 農地情報公開システム構築業務委託料 △81万円 農山漁村未来創造事業補助金 △218万円 神山町バイオマス利用促進協議会補助金 3万円 交通誘導警備事業業務委託料 △17万円 神山町空家利活用改修事業補助金 200万円 ＊神山町森林整備推進基金条例の制定について
建設課	○平成30年度一般会計補正予算（第6号） 森林環境保全整備事業開設工事 1億4468万円 木造住宅等耐震事業費 △1272万円 現年農地農業用施設災害復旧費 △700万円 現年林道災害復旧費 △1860万円 現年公共土木施設災害復旧費 △1833万円 ＊神山町水道法施行条例の一部改正について
教育委員会	○平成30年度一般会計補正予算（第6号） 奨学資金貸付金 △384万円 若者定住応援基金積立金 1500万円 非構造部材耐震対策工事 1000万円

締結

総務課

大埜地集合住宅N-3棟新築工事変更請負契約の締結について
 大埜地集合住宅C-3棟新築工事変更請負契約の締結について

建設課

平成30年度林道施設災害復旧事業（平成30年8月21日から24日にかけての台風20号災害）倉羅川井峠線1号箇所工事請負契約の締結について

平成30年度施行30年災第1号地すべり災害復旧工事（西久地殿宮線）変更請負契約の締結について

平成30年度神山町簡易水道等施設整備費（生活基盤近代化事業）広野区域ろ過施設建設工事変更請負契約の締結について

平成30年度（ゼロ国）森林基盤整備事業林業専用道奥屋敷線開設工事（奥屋敷工区）請負契約の締結について

平成31年

名西消防組合協議会

第1回定例議会は2月29日神山町役場議場で開催された。

本定例会では議案2件を審議し、原案どおり可決した。

議案第1号

名西郡消防組合火災予防条例の一部改正について

議案第2号

平成31年度名西消防組合一般会計当初予算について

平成31年度一般会計予算、歳入歳出それぞれ4億2608万5千円とする。

内訳

神山町分担金

1億2207万3千円

石井町分担金

2億9468万4千円

その他収入 820万5千円



一般質問



西崎哲夫 議員

- ① 文化祭の復活について
- ② 国道の管理と交通安全対策について
- ③ 鳥獣害対策の検討について

状況とも思う。

質問②

質問① 中止になって久しい文化祭の復活は、高齢化地域社会にある本町にあって趣味の充実や生きがいの発露の行事として復活すべきでないか。開催運営が困難な場合、町内の民間団体に委託する方法はとれないか。

答弁（教育長）

神山町文化協会の活動では、カラオケ大会、俳句大会外、展示部門では、道の駅、神山温泉、うめっこ、等々の各ギャラリーで実施しているが、参加者は人口減少、高齢化、趣味の多様化等々で年々減少している。各々の運営団体も高齢化や新規加入者の減少等で難しくなっている。こうした現状から一堂に会しての復活は難しいと考えているが、文化協会等と協議してみたい。又、町内民間委託については考えてみるが難しい現

(1) 国道の中央線標示消滅の対応がかなりある。下分、上分地区は後期高齢化が甚だしく進行しており、視力や聴力の低下に伴い、中央線の消滅は夜間雨天時の運転は正面衝突か側面衝突の事故の原因になりかねない。調査改善を求める。

質問③

(2) 神山町交通安全対策協議会機能運営の見直し検討について。協議会の内容は、毎回国県道の改良がほとんどで、国県道改良対策協議会になっていく。交通安全対策は、道路事情の改善等ハード面と、交通安全対策面のソフト面が調和して、協議されてこそ交通安全の効果があるのではないかと。機能の見直しと検討しては。

答弁（建設課長）

国道の管理は県が管理しており、質問の件についても要望し

ている。近年国・県道の舗装の傷んだか所が増えており、舗装布設替工事を進めているところである。中央線の件については対応が遅れていると思う。夜間や降雨時の視界の悪い時には誘導性があり道路にとって重要なものである。今後も引続き要望していく。

答弁（総務課長）

神山町交通安全対策協議会は本町交通安全保持に関する条例の規定に基づき設置している。事業内容は、1、交通安全の広報宣伝 2、交通安全の指導育

成 3、事故防止の調査研修
4、危険か所の改善 5、交通安全施設の設置に関するもの
6、交通安全の保持に関して必要な事項である。危険箇所の改善等は、協議会を通じて進めると同時に交通安全の広報宣伝等、ソフト面の意識付けの点について検討し、協議会の本来の目的を達成することが大切なので今後その様に進めたい。

質問3

鳥獣害対策の検討として、1、現場の実情に即した補助制度の見直しについて（実態に合せた細分化）

役場職員の狩猟免許取得者による、若手職員を対象とした啓発機会の設定について。在職中に取得すれば、退職後も地域での駆除に貢献できるのでは。

答弁（産業観光課長）

1、現時点で補助金要項の見直しは考えていない。質問のさらに実情に合せたようにとのことについては今後検討していく。

答弁（町長）

役場等の若手職員を対象とした啓発機会の設定については、今後進めてまいりたい。併せて従来の補助制度の運用の他に、他の自治体との広域連携についても進めていきたい。



国道下分上山橋以西の中央白線の消えた現況

一般質問



中谷秀久 議員

- ① 町内の高齢者世帯について
- ② 町内の公衆トイレの案内と管理について
- ③ 町内のイベントや伝統芸能について

質問① 高齢者世帯や独居老人の見守りについて、社会福祉協議会等でどのような活動が行われているか。

答弁（健康福祉課長）

見守りサポートは、健康福祉課と地域包括支援センターが担当している。

健康福祉課は、平成25年度から神山町緊急通報装置整備事業を実施している。緊急通報装置を通して、無線ペンダントや赤外線センサーによる利用者の異常事態をコールセンターに通報し、呼びかけに応答がない場合、指定各所に連携されて安否確認の支援を行う。

民生委員では、訪問や電話により高齢者の状態を把握し、必要に応じて関係機関に連絡を行っていた。また、毎年



3月に一人暮らし高齢者世帯の安否確認訓練を実施している。

地域包括支援センターでは、高齢者実体把握事業により、医療情報や緊急連絡先を書いて専用容器に入れる救急医療情報キットを自宅に保管し、万一の際に救急隊員が内容を確認できる対応をしている。

昨年6月に、16関係機関で構成する神山町高齢者等見守りネットワークを設立した。連携により、認知症高齢者の早期対

応、一人暮らし高齢者等の安否確認、消費者被害の拡大防止につなげたい。

役場以外に、社会福祉協議会の老人クラブ連合会が、一人暮らし高齢者の訪問や電話かけをし、必要に応じて関係機関への連絡を行っている。町で安心して暮らせるよう、見守りの輪を広げたい。

質問②

現在、視察や研修、観光による来町者が増加しており、公衆トイレの案内と管理について対策する必要があるのではないか。観光マップ等にトイレの所在を載せてはどうか。

答弁（産業観光課長）

トイレの所在は、神山町観光ガイドマップにて三角印▲で表示している。現在、町が設置した公衆トイレが12施設掲載されている。未掲載施設について、管理上の問題を検討し、次回のマップに掲載したい。

質問③ 町内のイベントや伝統芸能について、後継者不足による衰退が見込まれる。町の活気づけのため、今後町としての方策が必要ではないか。

答弁（町長）

人口減少と少子化により継続が非常に困難な状況にあり、柔軟な手法を考えていくが、伝統行事への行政の関わりは厳しい側面がある。主催である地元の方々がネット活用等をして町外からも後継者を募るなど、まず途絶えないよう発想の転換が重要ではないか。行政としてサポートしたいが、主導的立場にはなり得ないと考えている。良い考えがあれば提言をお願いしたい。



下分七夕まつり

一般質問



高橋義英
議員

質問①

生命の生死が問われるAEDだが、町内には非常時に命を守るAEDがどれほど設置されているか。病院、学校、公民館などで見かけるが、夜間休日にAEDを必要とする時、鍵のかかった施設に置かれている。盗難防止のためやむをえないと思うが、すぐに取り出せる様に設置する必要があるのではないか。民家、あるいは消防団の詰所など設置する場所を検討する必要があるのではないか。毎年水難事故が起きている高瀬の川にAEDの設置はできないか。

① AED設置状況について ② 学童保育の現状

答弁（健康福祉課長）

配置数は、役場、公民館が11台、保育所、学校が6台、歯科医院が3台、JAが3台、神山温泉が3台、計26台が町内の公共施設等に設置してある。保管場所については、各施設の入口付近など目に付くところに設置し、表示を行いケースで管理し



AED

ている。夜間の施設とか河川事故の近くの関係施設という質問については、まだ具体的な協議が出来ていない。今後、緊急な場合の対応等について、協議していきたい。

質問②

学童保育は、共働きの夫婦には感謝される事業だと思われるが、学童保育では、おやつを食べ宿題をしたら、保護者が迎えに来るまで自由に遊んでいる。その時間で中学生がしている未来塾みたいなことを低料金でできないか。

答弁（健康福祉課長）

学童保育は、平成19年4月から開設しており、13年目を迎える。学童保育の目的、役割は、放課後児童クラブ運営指針に示されている。適切な遊び及び生

活の場を与えて、その健全な育成を図る保育事業となっており、指導員の元で宿題をしたり遊んだりしながら放課後を過ごすのが本来の目的である。塾の設置希望については、本来の目的、施設の規模、放課後児童支援員の配置等により現状では難しいと考える。今後においても、現場や保護者の要望をふまえ、学童クラブが充実するよう対応していきたい。



学童保育

一般質問



志甫 守 議員

① 学習について ② 各学年の編成について

質問①

現在神山町の小学校で実施されている「ふるさと学習」を始め、アーテイストインレジデンスプログラムや町内のサテライトオフィス等の地域の団体と連携したプログラムは地域の資源を活かした特色のある学習と言えるが、今後の継続性やカリキュラムとしての位置づけ又神領と広野両校における展開のバランスはどうか。

答弁（教育長）

現在、神山町の小学校では郷土資料館の見学、老人ホーム寿泉園訪問。また、神山アーテイストインレジデンス事業での課外事業、サラライトオフィスやフードハブと連携したドローン教室やプログラミング教室、

レーザーカッター教室、キャリア教育出張授業、米作り体験など神山町ならではの多くの特色ある学習が行われており、カリキュラムとしては生活科や社会科、総合的な学習の時間に位置づけている。

また、広野小学校と神領小学校におけるこうした学習の展開については、それぞれの学校の特色を出しながら実施しており、バランスがとれていると認識している。これらの学習は、豊かな心の育成に向けて地域の



米作り体験

質問②

特に広野小学校は全校生徒30人余り、昨年度の卒業児が1名次々年度の入学予定児童も校区内で現在2名と少なく極小規模での教室運営が想定されるが、どのように児童の学びの質を高め、多様な考えに触れる機会を確保していくのか。

答弁（教育長）

小学校の学級編制については、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律により定められている。広野小学校は児童数33名でこの法律での広野小学校の学級編制は、通常学級が1年は1学級、2年と3年は複式学級で1学級、4年と5年も複式学級で1学級、6年は1学級、特別支

援は1学級で計5学級となるが、町では、平成27年12月に神山町費負担教職員の採用及び給与等に関する条例を制定し、県下で初めて町費で学級担任できる先生を採用できるようにして、現在広野小学校に町費での講師を1名配置しており、全て単式学級となっている。国語、社会、算数、理科などは各学年で学習しており、また体育、音楽などは2学年で実施しある程度の人数を確保しながら学習するなど、教科の特色を考慮しながらより教育効果が上がるよう柔軟に教育課程に取り組みでいる。教室での教科指導取り組みだけではなく、修学旅行、宿泊訓練、米作り体験、郷土資料館見学などの活動は神領小学校と合同で実施、密度の濃い活動をしていく。



単式学級

一般質問



森本孝夫 議員

- ① 遊休農地活用について
- ② 新規就農者の給付金制度について
- ③ 日本一のスダちの産地としての取組みについて

質問①

町内で農業従事者の高齢化が進んで農地が荒れてしまつてどうしようもなく、そこで荒れた農地の再生をどのようにするか、お年寄りにも作業ができる作物としてミツマタ栽培が思う。ミツマタの特長はお札の原料で栽培管理が簡単で、又鳥獣害の被害も受けないミツマタは、現在不足して約70〜80%が輸入されているようだ。こうした作物を作ることにより耕作放棄地の解消につながると考えますが、どうか。

答弁（産業観光課長）

ミツマタの推進について、平成23年にかみやま林業振興会が三好市の国立印刷局四国ミツマタ調達所に視察に伺い、平成24

年に苗木の導入を始めた。

現在34名の方が苗木約3万本を仕入れ、平成29年に約3トン、平成30年には約2トン出荷している。ミツマタの栽培は、車が横付けできる場合は有効かと思うが、距離がある農地では出荷が大変であると聞いている。



ミツマタ畑

質問②

農業を持続するために新規就農者制度を使つて町内で何名ほど利用者がいるのか、又移住者の方にも農業にかかわる人に対して、このような制度を進めて

いったらどうか、と私は思うが町の考えを伺いたい。

答弁（産業観光課長）

新規就農者への支援としては、国費100%の農業次世代人材投資事業の経営開始型が平成24年から事業が開始されている。交付対象の要件として、原則、独自、自営就農時の年齢が45歳未満で次世代を担う農業者となることに強い意志を有している方で認定新規就農者として認定を受ける必要がある。平成24年から新規就農者として8名に交付し、現在は2名が交付終了、6名に交付している。うち1名は移住者の方となっている。

質問③

日本一のスダちの産地でありながら、収穫できない黄色くなつたすだちが多く目に付くようになったが、町としてしてはど

のような考えでいるか。対策を伺いたい。

答弁（産業観光課長）

取り残しについては、農家の労働力が不足していることが、原因であると思われる。農業者の高齢化や繁忙期の労働者の減少、担い手不足が要因となつており、労働者の確保が急務であると考へている。



すだち畑

平成29年度に、名西郡農業協同組合、徳島県、神山町の3者でJA名西郡農作業無料職業紹介所事業推進協議会を立ち上げた。平成29年度には、16戸の農家から求人申し込みがあり、30名の求職登録があり延べ22件の雇用契約を結んだ。労働力の確保ができるよう継続して取り組んでいきたいと思う。

一般質問



佐出由恵 議員

質問①

以前、「県内若手ハンター増」との見出しで県内で若手の狩猟免許取得者がこの数年増加しているとの新聞報道があった。若い世代の狩猟免許取得促進に力を入れている成果が現れつつある一方で、免許を取得しても狩猟に結びついていない実態があり課題が残っているとのことであった。

神山町においても、近年の人口減少や高齢化による耕作放棄地の増加や山林の荒廃が進むにつれ有害鳥獣による被害が深刻化しており、若手ハンターの育成は喫緊の課題となっている。町内の狩猟免許取得者数と狩猟登録者数はどのようなになっているのか。

① 狩猟免許について ② 町外の学校への就学児童生徒に対する給食費や通学費用の補助について

答弁（産業観光課長）

神山地区で狩猟者登録を行っているのは、銃猟で24名、わな猟で37名で、その内40代以下は銃猟5名、わな猟4名と聞いている。狩猟免許取得者で今年度登録していない方の人数は把握できていない。

町では狩猟者を増やすことにより鳥獣被害の減少に努めるため29年度より狩猟免許取得、猟銃所持に対する補助をおこなったり、神山地区猟友会と共同でわな猟講習会を開催している。



町と猟友会によるわな猟講習会

再問

今後とも猟友会にご協力頂き狩猟を始める機会を作っていきたい。狩猟免許取得後、狩猟登録を希望する者は狩猟保険に加入し狩猟免許取得者数と登録者数になるべく近い数字になるようにすべきではないかと考える。

質問②

徳島県町村議会女性議員連盟で「子育て世代包括支援センター」設置の要望書を取りまとめ徳島県へ提出したが、神山町の子育て支援はすでに健康福祉課が核となり「子育て世代包括支援センター」として機能しており、かなり充実していると感じた。

さらに神山町では、保育所、小中学校の児童生徒への給食費や高校生までの医療費無料化やスクールバスの運行、城西高校神山校へ町外から通学する生徒への通学定期の3分の1が補助

されるなど特色ある支援がされているが、町外の学校に通う児童生徒に対して給食費や通学費用に對しての補助がどのようなになっているのか。

答弁（教育次長）

町外へ就学している小中学生について給食費や通学費の補助制度の制定はしていない。給食費の無償化については入学助成金や教材教具実験材料費と同様に町内の小中学校に就学している児童、生徒の保護者への子育て支援の一環として実施している。町外の国立、県立、私立の学校に就学している児童、生徒への補助は難しい。

再問

町外の学校へ就学しなければならぬ状況におかれた場合、転出をおさえたり子育て世代の若者が帰ってきやすくなったりと効果があると思うが、どのように考えるか。

答弁（教育長）

町内の小中学校へ就学して児童、生徒が増えることが一番大切なことだと考えているので、現在のところ補助等の支援をすることは考えていない。

一般質問



新居榮二 議員

質問①

2015年4月設立神山町地域おこし協力隊が設立当時は名西郡農協の購買部を借りて改修し事務所をこしらえ盛況に事業に取り組んでふるさと納税の返礼品等を荷造りして発送していたが、2019年3月末で解散廃止するという説明があった。この事業は総務課担当か、産業観光課担当かどちらが主導で動いているのか。神山地域おこし協力隊が解散廃止となり今後どのような形態になっていくのか。徳島新聞の紙面に載っていた神山町、農協、里山みらい連携で神山町特産のすだちを日本一を持続するために模索する記事について説明を求めます。

① 地方創生事業関連について ② 県道鬼籠野国府線について

答弁（総務課長）

ふるさと納税業務と地域おこし協力隊は総務課が担当。解散ではなく、地域おこし協力隊の任期が3年以内になっている。里山みらいは、NPO法人で、平成27年より活動しており、ふるさと納税の受託やすだち遍路、すだち販路拡大に取り組んでいる。

新聞紙面の件は、来年度から神山町農業次世代人材プロジェクトとして三者が連携協力して



里山みらい事務所

すだち農家の次世代を担う人材の育成をする。研修生を受け入れて2年間就業できるようサポートを行う。

質問②

桜の満開シーズンを迎え神山町も桜祭りの準備に忙しい時期だが、今回ゆうかの里桜祭りについての県道鬼籠野国府線は道路幅が狭い所が多く地元の人達は側溝に蓋をしてくれたら道路幅も広がって交通渋滞の緩和になるのではないかと望んでいる。今年度は、渋滞を解消する為にどのような対策をしておられるのか。町当局、徳島名西署、ボランティアグループの協力で桜祭りが終了するよう望むところだが、町当局は、どのような判断と対策を考えているのか説明を求めます。

答弁（建設課長）

県道拡幅については、県が管理し日常生活、通勤など重要な



県道鬼籠野国府線

路線として地域住民から拡幅や側溝整備、舗装など要望箇所が多数あり順次整備や修繕を進めている。ゆうかの里は、近年桜の名所となり多くの花見客が訪れる。道の幅員が狭いため側溝に脱輪し渋滞するケースが多く見られることから蓋付側溝に整備を実施しており、県では、来年度予算で交付金事業として国に要望しているところであり町としても早期完成が図られるよう協力していく。

答弁（産業観光課長）

ゆうかの里は、駐車場を設置するなど工夫されているが、徳島名西警察署にも現地確認していただいたが、交通規制は難しいとのこと。

一般質問



杉本哲男 議員

質問①

町内にある公共施設で各公民館、支所、体育館、保育所、学校などで非構造部材に対する耐震等の対策が進んでいるが、巨大地震が起きた場合、各施設にある窓ガラスや備品、ロッカー、本棚、それに収められている本などがいきなりの揺れで利用している方々や児童、生徒に凶器のように襲いかかり、時には命の危機を伴う。地震が起きても必ず助かる可能性を高める為、ガラスや備品、本、書類、ロッカーや棚を固定補強出来ているのか。

答弁（総務課長）

町内公共施設の巨大地震の揺

①公共施設の地震対策進捗状況について ②神山町防災MAPについて

れに対する固定は、役場も含めて公共施設のロッカーなどは、腰の高さ以上は積まない、可能な限りガラスの入っているロッカーは使わない、開かないよう鍵をかけるなど励行している。広野、下分両保育所は完了しているが、その他については十分出来ていない箇所があるのも現状である。

今年度より、非構造部材の耐震化等も進めており、神領小学校体育館と高齢者生活活動センターを行っている。来年度は、下分公民館を予定だ。町民各戸の家具等固定について、今年度より家具固定などの物品購入について補助を開始し、危険ブロック塀についても補助を始める。今後について、地震などに

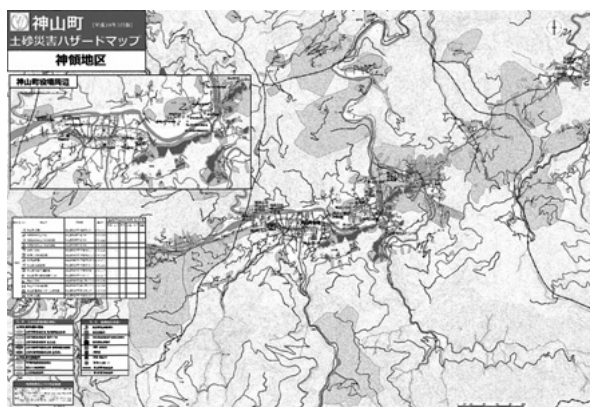
て、ロッカーの上に書類を積んだり、壊れやすい物を積まないよう指導するとともに固定も早急に進めていく。

質問②

現在各戸に配付されているハザードマップ（神山防災MAP）が範囲が神山町全体で広すぎ、自分の今いる場所がどこで、地区も判断つきづらいので地区ごとに区切ったハザードマップを作製してはどうか。

答弁（総務課長）

全町を旧村単位などの6つに分割印刷し来年度早々に配付出来るよう準備を進めている。分割することにより指定避難場所への経路や危険個所の把握などが紙面上分断されかえって解らず、夜間の場合など危険となる場合も想定される。また、密集



土砂災害ハザードマップ

地については拡大地図を掲載し見やすく工夫している。災害は必ずやってくるという意識を持って、初動の参考として利用頂けるよう見やすいマップにした

再問

新しい防災マップが本年出来上がるので安心していい。各戸には配付されるようだが、防災関係の消防詰所などにも配付して消防団員や防災関係者にも見やすく提示をして頂きたい。

議員研修

市町村議会議員 セミナーに参加して

1月15日16日の2日間、千葉市にある市町村アカデミーにおいて開催された特別セミナーに森本孝夫議員とともに参加した。

15日午後1時から開校式と研修日程の説明を聞いたのち、TBS「NEWS23」キャスターの星浩氏から「2019年政治の行方」との演題で講演があった。

日本を取り巻く情勢として、アメリカのトランプ政権の抱える問題や米中対立、米国第一主義についてや、中国の台頭、日韓の摩擦、北朝鮮の動向などの東アジアの情勢、米国や中国経

済の不安定化による経済の変動など世界的な観点からの講義があった。

次に視点を国内に向け、少子高齢化の進行による医療、年金は大丈夫かといった生活に直結した問題や消費増税や財政再建といった財政問題、金融緩和に

ついてや成長戦略の行方などの経済問題、外国人労働者の問題、地方創生や自治体間競争など地方自治について等の多岐にわたってお話を伺った。

2時限目は「ITで変わる地域社会の展望」として市町村職員中央研修所副学長牧慎太郎氏の講演があった。

内容としては1980年代にワープロやパソコンが普及してからの生活の変化や、今後AI（人口知能）や高速通信網の発達により変わる仕事のあり方、eコマース（コンピュータネットワーク上の電子化された商取引全般）やITを活用してのクラウドファンディングによる資金調達など銀行等を通さない金融システム、インバウンド観光の利便性向上を活用しての魅力ある地域づくりなど我が町にも参考になる講義であった。

2日目は、慶應義塾大学教授井出英策氏による「転換期の日本経済〜自己責任社会をこ

えるために」と、埼玉県立大理事長、慶應義塾大学名誉教授の田中滋氏の「地域包括ケアシステムとまちづくり」の講義があった。

平成の時代になって格差が拡大し、自己責任と言った言葉が頻繁に使われるようになったが、格差の是正や富の再分配の問題は第32次地方制度調査会への諮問により解決のきざしが見えてきたようだ。

また、少子高齢化の進む神山町にとって、施設介護から自宅介護への大きな転換となる「地域包括ケアシステム」の考え方により、どのように齢を重ね、どのような看取りを行うのかという非常に重い問題は、介護の場所が自宅に移っても行政や地域が重要な役割を担うことに違いはないようだ。

徳島では、聴く機会の少ない方々の講演をお聴きすることができ、有意義な研修会であった。

(佐出由恵)



第36回徳島県市町村 トップセミナーに 参加して

2月8日徳島市内のホテルで徳島県市町村振興協会主催による標記のセミナーが開催された。

本町から、町長、議長、副議長、総務課長、監査委員が参加した。主催団体の後藤正和理事長による開講の挨拶で始まり、2人の講師より講演があった。四国大学々長松重和美氏の「地域活性化と大学―自治体との有機的連携」と題し講演があった。内容として

- (1) 地方創生への課題として
少子高齢化社会の変動、地方大学への影響。
 - (2) 四国大学の取り組みとして
地域教育、研究と地域貢献地
- (知)の拠点整備事業、新たな藍文化とスポーツ振興策。
- (3) 産学公連携し京都での事例
ものづくり、人づくり、電気

自動車プロジェクト。

(4) 今後の展開について

産学公の連携について、重要性、必要性について話された。

続いて、経済評論家の岩本沙弓氏による「日本経済の行方と地方創生」と題して、講演があった。内容として、

- 1、日本経済の行方として
 - (1) 株価と為替 相関↓乖離 (潮目の変化)
 - (2) 米国経済景気後退、世界経済の展望
 - (3) 日本経済の現状と今後のリスク、消費税増税
 - (4) 為替展望
 - (5) トランプ通商関税政策
- 2、地方創生として
 - (1) 単品での勝負
 - (2) 日EU経済連携協定の大枠合意の活用
 - (3) 余剰人員の考え方
 - (4) プロジェクト規模
 - (5) 地域連携
 - (6) コネクタ―ハブ企業の内容で聴いたが、世界規模での経済のとらえ方と日本経済との関連等が当方の勉強不足で、理解できない部分もあった事は否定できない受講となったことは反省材料で

ある。

(西崎哲夫)

徳島県市町村監査委員協議会 研修に参加して

2月15日徳島グランヴィリオ

ホテルにて、千葉大学大学院社会科学研究院 大塚 成男教授より「地方公会計情報の機能と複式簿記導入の意義」について研修をうけた。なぜ財務書類が必要なのか。公共部門の効率化、スリム化を進めていく上での大前提として、また、政策の事後評価を行う観点から決算はこれまで以上に重視されるべきであり、中央政府(特殊法人等を含む)及び地方公共団体(外郭団体を含む)のいずれにおいても次のような方針を基本に会計制度等の抜本改革を進め、会計財務情報基盤を整備する必要がある。

財政書類の作成目的 (1) 利用

者の意思決定に有用な情報をわかりやすく開示することによる説明責任の履行(決算情報の開示) (2) 資産・債務管理や予算編成、行政評価等に有効に活用することで、マネジメントを強化し、財政の効率化・適正化を図る(財政規律) 財務会計制度の改革への要請 ★すべての資産を網羅した固定資産台帳の作成 ★検証可能な財務書類を作成し、事業別・施設別のフルコスト分析を可能にするための複式簿記の導入。地方公会計改革が目指しているのは、地方公共団体の財務会計の情報システムとしての強化である。企業会計的手法の導入⇨決算情報を活用するためのノウハウの導入【新たな要素】★資産の網羅的な把握と貨幣額による評価(固定資産台帳) ★コスト情報の作成と活用するために、複式簿記が必要である。資金の動きを、歳入、歳出の性質別に分類、整理して記録することができ、記録でき

る事項を大幅に拡張するとともに、現金の増減が生じない活動も記録し、管理することで組織の運営のために有用な情報をリアルタイムで作りに出すことができる簿記により、「日々仕訳」ができる体制の整備を目指す必要がある。

しかし、地方公共団体の活動と民間企業（特に営利企業）の活動を同一視しているのではなく営利ではないと。（河野雅俊）

平成30年度 勝名地区町村議会議員 研修会に参加して

2月19日に勝名地区町村議会議長会主催の勝名地区議会議員研修会が、管内議員など54名が参加して、神山温泉ホテル四季の里で行われた。

講師として、神山町上分四国山岳植物園 岳人の森主人「山田勲」氏に『神山の山奥に、紡

ぐ家族の熱い思い』と題して講演して頂いた。半世紀を上分の山奥に「岳人の森」を一からそして一人で切り開いて開拓するとともに観光資源とするため「花」を植えれば自然と「人」観光客が集まり上分から下分、神領、鬼籠野と下流へ人が流れ全町に人が流れが出来、観光客が増えると考えられたこと。これからは人が何も手を加えないで出来る物や昔からある地域資源を活用し、その場その地域しかない物を作りそれを資源として持続性があり将来展開が望める地域づくりをしたいと2時間に及ぶ講演をして頂き、これからもまだまだ地域づくりに意欲的な言葉を聞くことができた。

（杉本哲男）



町内視察研修

3月19日雨模様の中、昨年11月1日に開通式が挙行された森林管理道倉羅川井峠線の状況を

担当課から説明があった。総延長10、040m幅員4mで路盤改良されていた。次に、本根川区域で県道等機能保全緊急対策事業で大雪や台風による倒木対策として徳島県東部農村水産局の説明があり、毎年この事業は継続とのことだった。昼食後、上分神通滝遊歩道新設工事現場に行き、説

明を受けた。建設中で総延長542m幅員3m、谷から奥は幅員2m。完成は令和元年12月末予定。帰路、大正時代に建設された神通発電所送水元や姫滝を案内され、有意義な視察となった。

（新居榮二）



神道滝遊歩道

神 山 の 風 景



天皇即位30年記念植樹

天皇即位30年記念植樹

平成31年3月定例会が終了した20日に神山町議会議員全員と町長、副町長、教育長の12名で神山町神領「創造の森」内に天皇即位30年記念の3本の記念木『かみやま枝垂れ桜』を植樹しました。平成が4月で終わり、「議会だよりかみやま40号」発刊時には、新天皇即位と新元号となっている事でしょう。

公職選挙法違反となり
ますので、議員（候補者、候補者になろうとする者）は町民に対しての寄附や御歓びを贈ることは禁止されています。
議員一同

議会の動き

- 4月 8日 神山中学校入学式
- 9日 広野小学校・神領小学校入学式
- 9日 徳島県町村監査委員協議会役員会
- 18日 議会広報委員会
- 24日 勝名地区町村監査委員連絡協議会総会
- 5月 13日 交通安全街頭キャンペーン
- 14日 勝名地区町村議会議長会臨時総会
- 22～24日 勝名地区町村監査委員連絡協議会視察研修
- 28～29日 町村議会議長・副議長研修会
- 6月 5日 戦没者追悼式
- 中旬 議会運営委員会
- 中旬～下旬 6月定例会

表紙写真説明

阿川二ノ宮神社での阿川梅まつり開場行事の笠踊り。
少子化により、従来からの地区児童の対応が難しくなり、大人の女性により伝承されている郷土芸能。神山町の伝統行事、郷土芸能の伝承に、新たな手法の選択の示唆を与えてくれる。
写真提供 松浦一郎氏

編集後記

春のおとずれと共に3月定例会が開かれ、新年度予算の審議が可決されました。新しい年度が始まったわけですが、今回の議事内容の報告としては、過疎対策、道路保全、水道整備、福祉事業で、住民の生活基盤を保持・増進する計画のもと執行されます。新しい取り組み内容として、本年度から導入されている森林環境譲与税の利用計画が説明され、地権者の方々には御理解、御協力をいただきたいと思えます。また、本年は統一地方選挙の年でもあり、慌ただしくなっております。時の流れの急速な変化を感じる所ではありますが、私も議員一同、住民の方々の意見が反映される議会を目指して、努力する次第でございます。御協力をお願い致します。
(中谷秀久)